

豊ヶ丘小学校の学校林

豊ヶ丘小学校の敷地内には広大な「学校林」があります。学校林は、なんと東京都内の公立小学校の中では一番広い林。サッカーワールドカップの公式コートと同じくらいの広さ（7,100㎡）があり、一步入るとどこかに登山にきたような景色。多摩ニュータウンの開発時にそのままの形で残された貴重なもので、5年生になると総合の授業で、学校林について本格的なグループ学習が始まります。しいたけも育てていて、収穫して食べることもあります。

ほかにも、新緑の季節には学校林の中で絵本の読み聞かせがあります。ブルーシートを敷いて子供たちが座り、ちょっとしたピクニック気分です。虫や草木花も種類が豊富で春には絶滅危惧種の花がたくさん咲きます。秋には銀杏拾いも楽しむことができます。とても居心地のよいところなのです。そんな学校林を今後も子供たちが安全に、かつ持続可能な教育の場として使用していくために、年に7回ほど保護者、児童、地域の方、教職員が有志で整備活動を行っています。放置すると荒地になり、入れなくなってしまうからです。草刈りや枝打ちが中心ですが、木材を活用した工作（クリスマスリースやバードコールなど）を取り入れ、毎回飽きないように工夫して楽しく活動しています。冬には小枝を集めて校庭で焼き芋をやります。焼きたては絶品！

豊ヶ丘小は自然に囲まれ緑豊かな地域にあり、この素晴らしい環境を維持していくためにみんなで頑張っています。整備活動に参加したい方は、地域の人として参加可能です。ぜひお問い合わせください。

（豊ヶ丘小学校：042-371-3341） ■ 学校林ボランティア 代表 山本



一年間の活動を終えて ～副会長の声～

初めての事が多く、不安もありましたが周囲の皆様のご支援もあり、一年間を終えることができました。実際に関わってみると楽しく興味深い、様々な行事があることに気がつきました。今後もより多くの方が行事に参加頂き、楽しく心豊かに過ごせればと考えております。

青陵中 岩屋義弘

今年度、青少協委員として数年ぶりに活動させていただきました。今までのやり方を変え新たな試みをした行事、初めて参加した行事もあり新たな発見ができた年でした。また、地区委員の皆様の協力で最後まで大きな問題なく活動出来たことにも感謝しています。ありがとうございました。

青陵中 増田友佳理

「青少協って何??」から始まった一年でしたが、会長をはじめ多くの方々に支えられて、無事一年間を終えることができました。ありがとうございました。これまで地域の行事に参加したことがなかったので、新しい発見が多く、楽しく活動することができました。特に、ウォークラリー・歩こう会では、皆で協力して準備を進め、学生に戻ったような気分でした。

貝取小 宮本麻里香

様々な方と関わる中で同じ方向で物事を進めていく大変さを感じた一年でありました。活動を通して子ども達と関わる大人の優しさや思いやりを身を持って感じる事ができた貴重な時間でした。このご縁に感謝しています。一年間ありがとうございました。

豊ヶ丘小 高水香織



今年度もたくさんの方々にご協力をいただきました。心より感謝申し上げます。

No.19 青少協 豊ヶ丘・貝取地区委員会だより



2025年3月1日

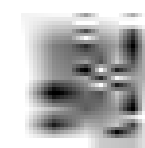
発行責任者

豊ヶ丘・貝取地区委員会会長 武内喜則

豊ヶ丘2-6-5-502 TEL: 042-376-9126

Email: ssk-toyokai@mist.dti.ne.jp

URL: <http://www.venus.dti.ne.jp/~basara/EX/ssk/>



豊かな人間性を育む国際交流の実践

多摩市立貝取小学校 校長 鈴木純一郎

貝取小学校では、海外から視察等のために来校される方々と本校の児童との交流活動の機会に恵まれ、異国文化の理解や多様な国々の方とかわるためのコミュニケーション力を育てています。

6月には、在日本アイスランド大使 ステファン・ハウクル・ヨハネソン様をお招きしました。6年生の児童とアイスランド風の献立の給食を一緒に食べながら、交流しました。

7月には、在日本ヨルダン大使 リーナ・アンナブ様が大使館職員、JICA本部スタッフとともに視察のため来校されました。ヨルダンの教育行政関係者が日本独自の教育課程の領域である『特別活動』に関心をもたれており「学級会」や「係活動」などの実態を知るために視察が行われました。

モンゴル・オルホン県からの視察団も同様に、貝取小学校の特別活動の実践を自国の学校教育改革の参考にするために10月に来校されました。モンゴルのみなさんとは、5月に5年生の児童同士がオンラインで互いの国の特色について報告し合っていました。

韓国のヨンボン小学校のみなさんとは、7月にオンラインで児童同士が交流し、9月には修学旅行のために来日した6年生10名と先生方が来校されました。本校の6年生と一緒にゲームをしたり、韓国の遊びを体験したりして親睦を深めました。

それぞれの国の方々と学校に迎えるにあたっては、発達段階に応じてイラストやメッセージカードなどを作ったり、各国の言葉で挨拶をしたりするなど、児童の関心が高まる様子が見られました。

年度末までに、エジプトからの教育関係者による本校の特別活動の視察やモンゴルの楽器・馬頭琴の演奏家の方をお招きするなど、国際理解教育をさらに推進していく予定です。



■ 韓国ヨンボン小学校との交流



■ モンゴル・オルホン県教職員の訪問

行事報告

《 第14回 貝取・豊ヶ丘交流ニュースポーツ大会 》

10月13日（日） 今年から、より多くの方が好みの競技を自由に楽しめるように、参加方式を変えました。実施競技も、グラウンドゴルフ、ストラックアウト、輪投げ、ソフトグライダーに新種目のディスクゴルフを加え、5競技を行いました。



《 ウォークラリー・歩こう会 》

11月3日（日） こぶし館をスタートして、よこやまの道や小野路を歩きながら、丘の上から里山の眺望を楽しみました。
ゴール後には参加賞のお茶でのどを潤し、おにぎりを頬張って疲れを癒やしました。



《 地域清掃 》

12月7日（土） 豊ヶ丘小学校と貝取小学校周辺で通学路の落ち葉集めなどの清掃活動を、子どもと大人が協力して行いました。小学生34人、保護者や地域の方々77人が参加しました。



《 子どもと大人の工作の日 》

12月8日（日） 親子で多摩そばづくり。



《 第38回 どんど焼き 》

1月11日（土） 例年以上にたくさんの方々の参加で賑わい、豚汁やお汁粉も早々に提供終了。
豊ヶ丘小、青陵中の約60人の小学生・中学生ボランティアが、力仕事や調理に大活躍。

